

平成 23 年度産業動物部会 講習会を開催

平成 23 年 6 月 14 日(金) 新潟市の万代市民会館で平成 23 年度定時総会に引き続き、講習会が開催され35名が出席しました。

講師は、北里大学獣医学部獣医学科 大動物外科学教室の渡辺大作先生から「産業動物の麻酔法と種々疾患に対する外科処置法」と題して、牛を中心に症例毎にご講演をいただきました。

渡辺先生は元 NOSAI 山形の臨床獣医師。フレンドリーかつ現場に合った分かり易いお話が好評で、新潟の講演は数度目となります。

今回は外科の基本である麻酔法の解説を中心とし、超音波・内視鏡・レントゲン診断機を使った診断アプローチの具体例や、困難治療の成功例(畜主は諦めて、患畜を大学に寄贈したものの、元気となって畜主に戻り、高値で出荷された。)などを、楽しくご紹介頂きました。

臨床現場にとって、麻酔の成否は治癒率と作業性を大きく左右する技術であることから、この再学習はとても重要なものであったと思います。また、種々の診断機の低コスト化が進み、その応用例が多数報告されるようになってきていることから、現場にてその経済価値を追求し、少しでも農家を元気付ける材料を確保し、展望を明るく語ることの必要性を感じました。

講演終了後は、質疑に入り活発な意見交換がなされました。



受講風景



講演される渡辺大作先生